

114  
A3535



不水豫何就布如之自濟題

ナ

才谷嘉兵衛

東京永田町  
佛官邸  
伯爵大隈重信殿

書留  
親展

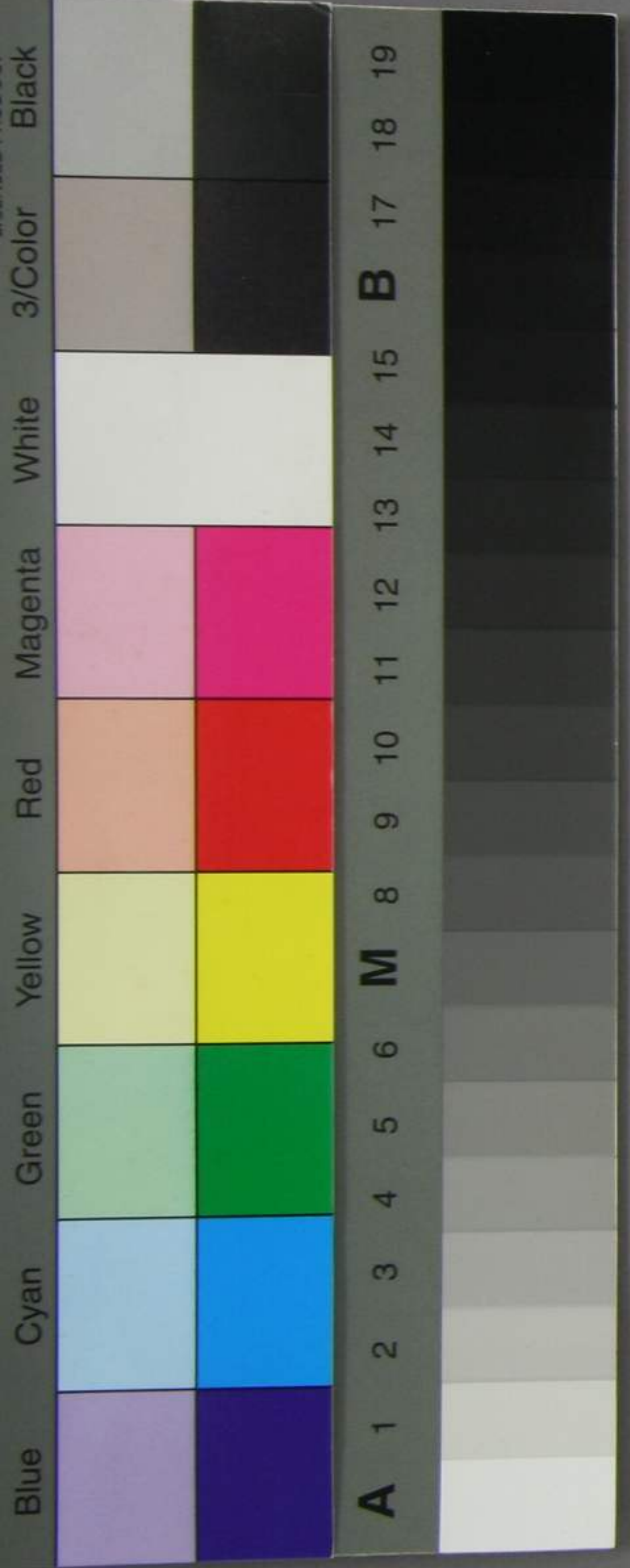


北  
506  
書留

在甘至北城門

概要

幸ニシテ非常ノ風  
ラス為メニ曾テ  
ルノ能ハス遺憾  
産留易上ニ  
築ヲ初メ鉄道ノ  
施設セラルベカラ  
ハ實方聞ノ調査  
仮令案ヲ具シ  
大計ニ関シ甘堂  
設ヲ講スベキ問  
殖産留易上





114  
A 3535



其臺灣銀行設立ニ就テ意見ノ概要

不肖渡臺以來僅々數日間而カモ不幸ニシテ非常ノ風  
 水害後ニ際會ニ交通ノ便意ノ如クナラス為メニ曾テ  
 豫期セシ地方實況ノ一半ヲモ觀察スルノ能ハス遺憾  
 何リ之レニ過キン然レモ熟ラ本嶋ノ殖産貿易上ニ  
 就テ目撃スル處ニヨシ人港灣ノ修築ヲ初メ鐵道ノ  
 布設ト云ヒ道路橋梁ノ改良ト云ヒ施設セラルベカラ  
 カルノ事業一ニシテ足ラスト雖モ淺見寡聞ノ調査  
 ヲ以テ輕々新案ヲ下シ難キモノアリ又復令案ヲ具シ  
 卑見ヲ呈シ得んとスルモ事百年ノ大計ニ關シ甘臺  
 灣經營ノ大方針ト相俟テ徐ニ施設ヲ講スベキ問  
 題モ甚シトセホんヲ以テ茲ニハ只殖産貿易上





一日モ速ニ設立セザルベカラザルモノト認メタル其臺灣銀行ノ件ニ對シ驛カ左ニ其情ヲ具セントス

一金融機關設立ノ急務ナル理由

臺灣ニ於ケル金融機關ノ設立ヲ急務カトスルヤ今更ニ喋々スル迄モナク政府ハ夙ニ其必要ヲ察セラレ臺灣銀行設置ノ計畫アリ不肖又該銀行創立委員ノ任ヲ荷フ豈ニ一言實況ヲ叙テ參考ニ供セザルヲ得ニヤ

臺灣ノ地タル一華帶水ヲ隔テ、清國ト相對シ就中厦門及香港ハ商業上最モ本埠ト密着ノ關係ヲ有スルガ故ニ金融ノ繁閑ハ勿論金銀比價變動ノ如キモ真ニ微動ハ雖互ニ相感應スルコト是ナリ

スルコト是ナリ

故ニ臺灣ノ銀相場ハ本邦ト對シ岸支那ト鼎立シテ始テ時價ヲ生シ出スモノナルヲ知ラザルベカラズ然ルニ現今日本銀行臺北支店ノ取扱ニ係ル總督府ノ田銀交換價格ハ九拾貳錢ニシテ則チ金兌換券千圓ニ對シ銀千圓八拾六圓九拾五ニ當レルヲ以テ香港及厦門ニ於ケル銀價驛カ騰貴シタル昨今ニアリテハ射利ニ敏キ居留外人及支那人ハ為替作  
用ヲ以テ少ナカラザル利益ヲ博シタルモノアルコトナラス  
彼等ハ我有力ナル商業機關銀行ノ備ナキニ果シ巧ニ金銀比價ノ變動ヲ利用シ以テ日本銀行及我商人ハ常ニ不利ノ地位ニ立テリ何トナレハ日本銀行ハ



円銀ノ公定價格ニヨリテ国庫金ノ收支ヲ百ルニ過キハ  
レハ外国為替賣買ノ機先ヲ制スルヲ能ハサルハ勿  
論大藏省命令ノ下ニ西覇來セラル、ヲ以テ高臺モ  
高業ノ機閉ルナルヲ得カレバナリ

現ニ本月ヨリ総督府令ヲ以テ円銀公定價格ヲ金  
九十貳兆トセラル、ヤ円銀ノ交換ヲ請求スルモノヨ  
キ為カカ大藏省ハ其交換ヲ一切中止セシメラレタ  
ルニアラスヤ茲ニ至リテハ我内高ハ如何ヲモスヤカ  
ルノ悲境ニ陥リ止ヲ得ス土人ノ西替店ニ付テ必  
要ノ銀貨ヲ求メ居ルノ有様ナリ而シテ之レカ為メ  
我高人ノ被ル處ノ損失如何ト云フニ從來ノ如ク  
日本銀行ニテ交換セラル、ハ金券千円ニ對スル

円銀千。八拾万九拾錢ヲ得ラル、ニ拍ラス土人ヨリ  
購入スルハ僅ニ五拾円乃至五拾五圓ノ打歩ヲ得ル  
ノ割合ナリ故ニ我内高ハ目下千円ニ百三拾余圓ノ  
損失ヲ生シ一月五万圓ノ高業ヲ営ムモノハ其交  
換打歩トシテ實ニ千五百圓ヲ空ニク失フニ及ビ土  
人ハ我ノ損失額夫ヲ利スルノ途ナリ豈ニ發覺ヲマキ  
事實ナラスヤ果ニテ然ラハ土人ハ何故ニ利スルカト  
云フニ前述ノ如ク土人及外人ハ厦門若クハ香港ト  
密着ノ關係ヲ有シ一種ノ潛勢力ヲ金鬻界ニ有  
スルノミナラス阿片代及納稅金ハ金券ヲ以テスルガ  
故ニ容易ニ其差額ヲ利益スルノ便宜ヲ有スルナリ  
此一事ヲ以テスルモ如何ニ内高ハ不幸ノ位地ニ立テ又



如何ニ金融機關ノ設ナキニ苦痛ヲ感シツ、アルカヲ  
知ラセラル、ニ足ラシカ其他金利ノ如キニ至リテモ  
内高ハ相當ノ担保ヲ借シテ猶且一ヶ月一割ノ  
高利ヲ支拂ハカント得カシカ如キモノアルニ及シ土人  
ハ通常六歩ノ利息ヲ以テ円滑ニ資金ヲ運  
用シ得んノ便アリト云フ而シテ如此内地商人ノ不  
便不利ヲ免シカん所以ノモノハ畢竟其臺灣ニ於  
ケン高業的中央機關銀行ノ設備ナキニヨリ  
スルカラス是レ其臺灣銀行ノ設立一日ヲ後シハ  
一日ノ擲アリ一ヶ月ヲ緩クセハ一ヶ月ノ害アリテ民  
業ノ發達ヲモ阻止セシトスルノ恐シアル所以ナリ  
今臺灣銀行設立ニ關シ卑見ノ要點ヲ擧ゲル左ノ

如シ

- 一本店ヲ臺北ニ支店ヲ廈門ニ其他臺灣ノ樞要地ニ  
數ヶ所ヲ設ルコト
- 一株式募集ハ内地人ノミニテモ可ナリト虽尼可成支  
那人ヲモ加ルヲ可ラス
- 一土人ノ貯金力ハ驚クマキモノアリ故ニ彼等ヲシテ  
銀行ノ功能ヲ知得セシメテ預金ヲナサシメ且  
信用アル土人ニ相當ノ地位ヲ與ルモ可ナンヤ
- 一夏期ハ余其他輸出時季ニシテ冬期ハ輸入時期  
ナリ故ニ為替資金ノ如キモ時期ニ適應セシメカ  
ルニカラス
- 一歐米人ノ未ダ有力ナル銀行ヲ設ケカニ先テ臺灣銀行



速ニ設立スルヲ要ス

一廈門ノ臺灣ハ高業上離ルベカラズ關係アリ故ニ此關係ヲ利用スル為メ第一着ニ廈門ニ支店ヲ設ケルベカラズ

一土人ヲシテ漸次銀行ヲ利用セシムル為メ政治上ニ於テニ偉大ノ効果アルヲモト信ス

以上

時ニ強半本銀難得ル事多ク佛清池ニ於テ  
とある事古來ノ通也 臺灣島出發の故即ち  
往々東航ニ要ス 亦シ難きを以テ其日北  
指度ハ出航三日破入ノ感海ぬりて考りし  
航法中北航ノ最良なるに出航一書ニ於  
テ止者去ノ日多ク到可有化して下作  
於此ニ於テ多ク傳へた地事者出ル也  
且陰智爾不及後夜民政局長友子也  
親友揮翰記に於テ屢々申而曉路ハ就  
ルハ自南洋銀行を始メ他は臺灣銀行  
此の所意見を因ハル生々を解カ所見を



吐露路にあらざる者あり品簿録の付はたを  
急務を要ししるすと申思ひたる別紙申す  
さし申仕の条の如く申候事と申す  
宜地之就て親密なる所より御座り  
此は之の如く申す事あり  
他務にお申仕る件を申す事あり  
親密なる所より御座り  
此の件に付ては御座り  
の事と申す事あり

先ん

先ん 大黒 申す事あり  
先ん 大黒 申す事あり

伯耆大隈 宣信閣下



